

輸送動向について(平成19年度第1 - 四半期)

平成19年7月

1. 輸送概況

第1 - 四半期の運転状況は、5月に関東北部を中心とした強風による運転規制が発生した他、6月には東海道線根府川駅構内での機関車故障及び東北線さいたま新都心駅～大宮駅間における架線切断事故による輸送障害が発生し、高速貨84本、専貨9本が運休した。

荷動きについては、ゴールデンウィーク期前後に需要の盛り上がりがあったものの、3月の年度末需要で先送りがあった他、輸送障害の影響もあり、全般的にはやや低調に推移した。

コンテナ貨物では、過去の輸送障害の影響もあり他輸送機関に一部転移し減送となった積合せ貨物の他、化学薬品、エコ関連物資が前年を下回ったものの、政府米・民間流通米の出荷が好調であった農産品・青果物、清涼飲料水が大きく増送となった食料工業品の他、堅調な出荷が続く化学工業品、自動車部品などが前年を上回り、コンテナ貨物全体では前年比101.9%となった。

車扱貨物では、灯油及び重油が大幅な減送となった石油の他、セメント、石灰石などすべての品目で前年を下回り、車扱貨物全体では前年比91.8%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	1 - 四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,696	5,592	101.9%
車扱	2,818	3,071	91.8%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	481	434	47	110.8%
	化学工業品	557	533	24	104.5%
	化学薬品	411	428	-17	96.0%
	食料工業品	872	860	12	101.4%
	紙・パルプ	952	951	1	100.1%
	他工業品	418	402	16	104.0%
	積合せ貨物	627	643	-16	97.5%
	自動車部品	183	168	15	108.9%
	家電・情報機器	99	90	9	110.0%
	エコ関連物資	89	105	-16	84.8%
	その他	1,008	975	33	103.4%
	コンテナ計	5,696	5,592	104	101.9%
車扱	石油	1,763	1,964	-201	89.8%
	セメント	147	152	-5	96.6%
	石灰石	185	191	-6	96.9%
	車両	315	335	-20	94.0%
	その他	408	429	-21	95.1%
	車扱計	2,818	3,071	-253	91.8%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)